
経済 TOPICS

No. 224

(2023年10月13日)

景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 消費は底堅く推移しているものの、生産や輸出が横這い圏内の動きとなっているほか、設備投資にやや弱めの動きがみられることから、全体としては回復テンポが鈍化している。この間、海外での新たな軍事紛争や資源・食料価格の高騰に伴う物価上昇の影響が懸念されるなど、先行き不透明感の強い状態が続いている。
- 米国 … 生産は横這い圏内の動きを続け、住宅販売は引き続き減少しているものの、個人消費が堅調で、雇用のタイトな状況が続いていることから、全体としては緩やかな回復を続けている。この間、消費者物価は、サービス価格の粘着質な上昇圧力が続いている。
- 欧州 … 生産の弱めの動きが続いているほか、輸出が減少し続け、消費や設備投資の前年比プラス幅が縮小傾向にあるなど、持ち直しの動きが弱まっている。この間、消費者物価は、サービス価格の粘着質な上昇圧力が続いているものの、全体としては前年比プラス幅の縮小傾向が続いている。
- 中国 … 生産は横這い圏内を維持しているものの、不動産開発投資の大幅な減少が続いているほか、消費や輸出も減速していることから、全体として減速している。この間、生産者物価は前年比マイナスが続き、消費者物価も前年割れとなっている。



京都フィナンシャルグループ

京都総研コンサルティング
